

輸出事業計画

※申請者名：株式会社八重山食肉センター、石垣市

品目：牛肉

1. 輸出における現状と課題

(1) 現状

①沖縄県から輸出される牛肉の現状

沖縄県から輸出される牛肉は、令和元年度まで増加傾向で推移し15t程度まで達したが、新型コロナウイルス等の影響による世界的な経済停滞の影響もあり、令和3年度には約1/6の2.4tまで減少している。令和4年度より回復傾向にあり、今後は順調に増加していくと考えられる。

②これまでの輸出の取組

HACCPに関する国内認証（公益財団法人日本食肉生産技術開発センター）を取得しており、牛肉についてタイ及びマカオ向けの施設認定を取得し、沖縄県初の牛肉輸出認定施設として、牛肉の輸出を行っている。

（農林水産省HP「輸出・国際－アジア－タイ牛肉－認定施設施設リスト」）

OKI-I	株式会社八重山食肉センター Yaeyama Meat Center Co., Ltd.	沖縄県石垣市字大浜1368-3 1368-3 Ohama, Ishigaki City, Okinawa, Japan	と畜場 Slaughterhouse	沖縄県 Okinawa Prefecture
			食肉処理場 Cutting Plant	

（農林水産省HP「輸出・国際－アジア－マカオ－牛肉－認定施設施設リスト」）

OKI-MQ-A	株式会社八重山食肉センター Yaeyama Meat Center Co., Ltd.	沖縄県石垣市字大浜1368-3 1368-3 Ohama, Ishigaki City, Okinawa, Japan	と畜場 Slaughterhouse	沖縄県 Okinawa Prefecture
			食肉処理場 Cutting Plant	

(2) 課題

【生産】

・生産者や輸出事業者間で輸出に向けた意思の統一を図ること（特定の生産農家（ブランド）のみが輸出の恩恵を受けないように配慮すること等）

【加工（と畜）】

- ・設備の老朽化に対する対策
- ・人材の確保、育成
- ・台湾・シンガポール向け輸出食肉の取扱要綱に基づく設備基準に適合するための、施設改修
- ・食品添加物の使用基準の遵守、食肉衛生検査所等による監視指導への対応

【物流】

- ・空路における輸送コストの高さ、石垣港での荷物保管スペースの確保、物流ルートの確保

【販売】

- ・ロイン系以外の部位の販路
- ・消費者ニーズの把握と商流開拓

輸出事業計画

※申請者名：株式会社八重山食肉センター、石垣市

品目：牛肉

2. 輸出事業計画の取組内容

○輸出全般に向けた取組

【生産者との合意形成や商流の整理に向けた取組】

・輸出に当たっては生産者の合意が必要であるが、生産者は現状の国内での販路形態・商流に影響がでることへの警戒感が強い。また、複数のブランドあり、特定の生産農家（ブランド）のみが輸出の恩恵を受けないように配慮する必要があるため、GFPグローバル産地づくり推進事業を活用し、生産者会議を実施し、各生産者との合意形成と商流の整理に取り組む。

・輸出の対象が特定の生産者に偏り、輸出用の出荷が減少し輸出用出荷牛の品質が低下すること、また、輸出用に高品質の牛が集中し、国内向け出荷牛の品質が低下し国内のセリ価格に悪影響を及ぼすことが懸念されるため、生産者間での取り決め（ルール）と高単価の価格帯を期待できる輸出用の牛肉の品質を維持するための取組みを行う。

・消費者ニーズの把握と商流開拓が課題となっているため、GFPグローバル産地づくり推進事業等を活用し、現地調査やテスト販売等を行う。

【加工（と畜）】

- ・市の予算を活用し、設備の老朽化に対する対策を行う。（ボイラーの更新など）。
- ・令和5～6年度に八重山肥育牛販路拡大事業を活用し、輸出要件を満たすための作業（始業前確認、ゼロトレランス確認、検査作業）に向けた人員増強を行う。
- ・GFPグローバル産地づくり推進事業を活用し、先進生産地調査を実施し、輸出向けの衛生管理に基づくと畜・加工方法の技術向上や技術者の育成を図る。
- ・加工（と畜）について、台湾・シンガポール向け輸出食肉の取扱要綱に基づく設備基準に適合するよう、現在使用している施設への機器整備等を行うほか、旧と畜場を改修し歩行困難牛を専用でと畜するための病畜棟を整備する。
- ・食品添加物の使用基準の遵守、食肉衛生検査所等による監視指導への対応を行う

【物流】

・テスト販売を行い、物流における課題の洗い出し・整理を行い、関係機関と調整を行う。

【販売】

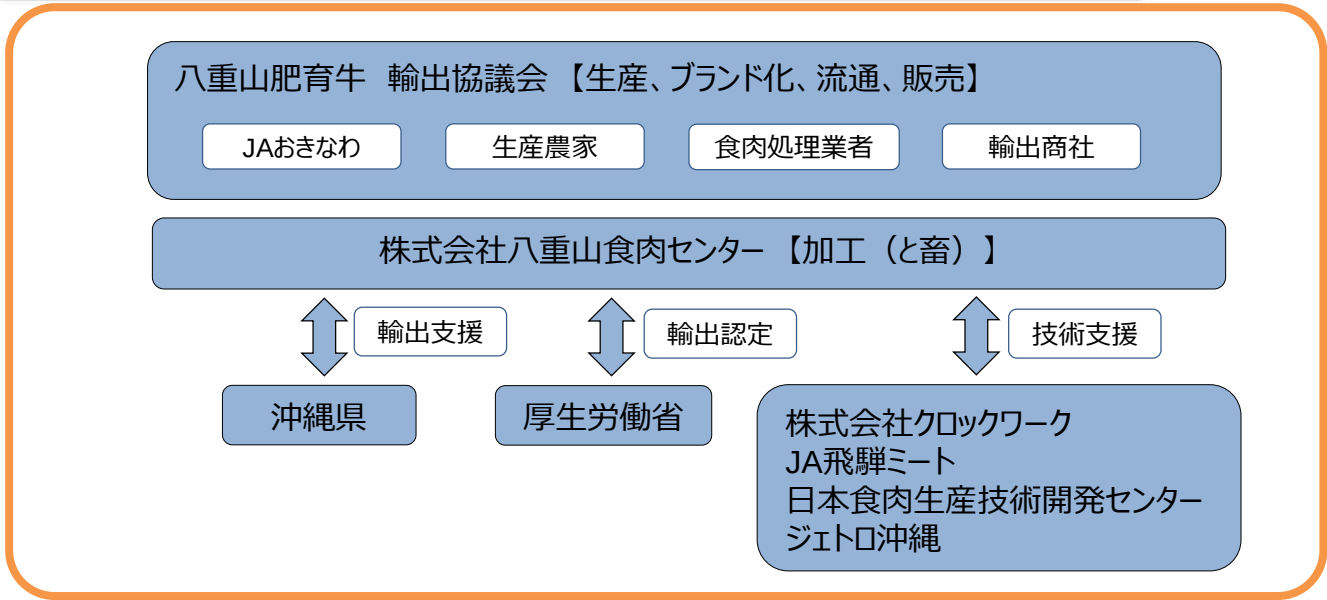
- ・輸出向けの部位と輸出ニーズの少ない部位でどのぐらいの余剰が生じるのかの情報を収集し、必要な改善策を構築する。
- ・既存ニーズが高いと考えられるロイン系の顧客・販売ルート（商流）の構築に取り組むほか、カタモモ系やバラ系も含めた価格・品質に関する消費者アンケートを実施する。
- ・現地小売店や観光イベントとの連携、PRなど石垣島産和牛の販路拡大に向けた活動に取り組む。
- ・輸出用の牛の選定にあたっては、県外での成功事例（岐阜県飛騨牛等）や他の地域での連携体制を紹介し、八重山地域でも合意形成ができるように生産者会議を実施し、体制を構築する。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社八重山食肉センター、石垣市

品目：牛肉

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

輸出する農林水産物・食品の現状及び目標
(輸出品目:牛肉)

		現状 (令和4年度)	目標年 (令和11年度)	備考
八重山地区	輸出額(千円)	950	32,200	
	輸出量 (kg)	100	5,100	
	輸出先国	タイ	タイ、マカオ、台湾、 シンガポール	
	生産量/取扱量 (頭)	9,583	9,933	